



知ろう！身近なSDGs①

デザインウォッチング

横浜市民防災センター

報告書



公益社団法人かながわデザイン機構は
持続可能な開発目標 (SDGs) を
支援しています

開催日 : 2021年5月28日(金)

開催時間 : 14:30 ~ 16:30

参加人数 : 7名

所在地 : 横浜市神奈川区沢渡 4-7

◆地震火災体験ツアーに参加

新型コロナ禍の時世なので、検温、消毒をし、2席おきにて座って、カーブした壁に映る防災にまつわる家族ドラマを15分見たが、身近な話題なのでつい引き込まれた。

その後鉄柵のついた大きな台に乗り、壁一面の阪神淡路大地震の被災映像を見ながら震度7や震度8を体験する。倒れないように鉄柵を握りながら、これほど揺れるのなら家財が倒れてくるというより、家自体が崩壊するのではないかと思った。

次は消火訓練。各自が消火器を持ち、ピンを抜いて、ホースをデジタルで燃えているてんぷら鍋に向かって噴射する。消火剤が出ている時間は25秒だそう。最も多い火事の原因は放火次がてんぷら油の過熱によるものだそう。

次は煙の充満した部屋を抜ける。煙は上部に留まることが多いので出来るだけ姿勢を低くして部屋をでる。息苦しい煙ではなかったが、実際には息も出来ない苦しさになる。

地震の時のとっさの行動をとる訓練。一般家庭の部屋に居て地震が起こった場合になすべき事を考えて行動するシュミレーションの訓練をした。地震の音と同時に電気が消え、壁にひびが入りデジタル映像とはいえ臨場感があった。



◆風水害ツアーに参加

一般家庭に滞在中、暴風雨に教われる。避難指示が出たらとっさにどうするか考えて行動する。暴風雨の映像が恐怖を感じる程すぎまじいし、電気も消えるので何をすべきが本当にうらたえながら考えた。

次に自分の住む町の防災マップを見ながら、タイムラインを作成する。警戒レベルが1から5まであり。それぞれのレベルが何を示すのか、そして各レベルに応じた取るべき行動を教わった。具体的には知らないことばかりだった。

新型コロナ対策として各ブースを変わる毎にアルコールで手を消毒、後半は我々だけの貸し切り状態だったのでコロナ感染の心配をせずにツアーに参加できた。こういう経験は是非一度は体験しておくべきだと思う。再度参加機会を検討したい。

